

HSBC ブラジル債券 オープン(毎月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2008年9月30日～2028年9月25日	
運 用 方 針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分 配 方 針	年12回の決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第163期	（決算日	2022年4月25日）
第164期	（決算日	2022年5月25日）
第165期	（決算日	2022年6月27日）
第166期	（決算日	2022年7月25日）
第167期	（決算日	2022年8月25日）
第168期	（決算日	2022年9月26日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）」は、2022年9月26日に第168期の決算を行いましたので、第163期～第168期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
《お問い合わせ先（投信営業本部）》
電話番号：03-3548-5690
（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
139期(2020年4月27日)	3,045		15	△ 8.7	97.6	—	16,278
140期(2020年5月25日)	3,173		15	4.7	97.0	—	16,781
141期(2020年6月25日)	3,297		15	4.4	96.5	—	17,176
142期(2020年7月27日)	3,364		15	2.5	98.6	—	17,181
143期(2020年8月25日)	3,116		15	△ 6.9	98.9	—	15,641
144期(2020年9月25日)	3,118		15	0.5	98.2	—	15,391
145期(2020年10月26日)	2,981		15	△ 3.9	97.5	—	14,556
146期(2020年11月25日)	3,080		15	3.8	97.6	—	14,790
147期(2020年12月25日)	3,236		15	5.6	96.7	—	15,149
148期(2021年1月25日)	3,010		15	△ 6.5	97.7	—	13,963
149期(2021年2月25日)	3,065		15	2.3	98.4	—	14,030
150期(2021年3月25日)	2,928		15	△ 4.0	98.4	—	13,249
151期(2021年4月26日)	3,013		15	3.4	97.4	—	13,419
152期(2021年5月25日)	3,084		15	2.9	97.0	—	13,527
153期(2021年6月25日)	3,415		15	11.2	96.6	—	14,720
154期(2021年7月26日)	3,200		15	△ 5.9	97.4	—	13,643
155期(2021年8月25日)	3,061		15	△ 3.9	98.1	—	12,953
156期(2021年9月27日)	3,012		15	△ 1.1	97.9	—	12,564
157期(2021年10月25日)	2,828		15	△ 5.6	97.3	—	11,651
158期(2021年11月25日)	2,878		15	2.3	96.0	—	11,555
159期(2021年12月27日)	2,886		15	0.8	96.3	—	11,196
160期(2022年1月25日)	2,947		15	2.6	99.6	—	11,305
161期(2022年2月25日)	3,201		15	9.1	98.8	—	12,134
162期(2022年3月25日)	3,569		15	12.0	98.0	—	13,354
163期(2022年4月25日)	3,769		15	6.0	96.2	—	13,612
164期(2022年5月25日)	3,703		15	△ 1.4	96.6	—	12,974
165期(2022年6月27日)	3,605		15	△ 2.2	96.3	—	12,224
166期(2022年7月25日)	3,460		15	△ 3.6	98.8	—	11,625
167期(2022年8月25日)	3,844		15	11.5	98.5	—	12,639
168期(2022年9月26日)	3,970		15	3.7	98.0	—	12,322

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、動働きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		
第163期	(期 首) 2022年 3月25日	円 3,569	% —	% 98.0	% —
	3 月末	3,633	1.8	98.1	—
	(期 末) 2022年 4月25日	3,784	6.0	96.2	—
第164期	(期 首) 2022年 4月25日	3,769	—	96.2	—
	4 月末	3,743	△ 0.7	97.3	—
	(期 末) 2022年 5月25日	3,718	△ 1.4	96.6	—
第165期	(期 首) 2022年 5月25日	3,703	—	96.6	—
	5 月末	3,783	2.2	96.8	—
	(期 末) 2022年 6月27日	3,620	△ 2.2	96.3	—
第166期	(期 首) 2022年 6月27日	3,605	—	96.3	—
	6 月末	3,684	2.2	96.2	—
	(期 末) 2022年 7月25日	3,475	△ 3.6	98.8	—
第167期	(期 首) 2022年 7月25日	3,460	—	98.8	—
	7 月末	3,644	5.3	98.9	—
	(期 末) 2022年 8月25日	3,859	11.5	98.5	—
第168期	(期 首) 2022年 8月25日	3,844	—	98.5	—
	8 月末	3,878	0.9	97.7	—
	(期 末) 2022年 9月26日	3,985	3.7	98.0	—

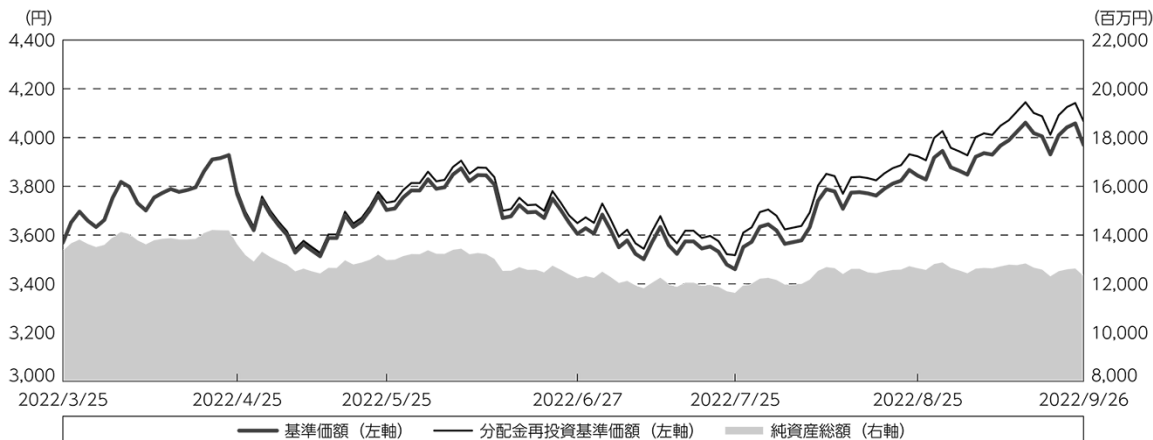
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第163期～第168期：2022年3月26日～2022年9月26日）



第163期首：3,569円

第168期末：3,970円（既払分配金（税込み）：90円）

騰落率：14.0%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年3月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入および組入銘柄の価格上昇（利回り低下）が基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルリアルが対円で上昇したことが、プラスに働きました。

投資環境について

【債券市況】

当作成期のブラジル債券市場は前作成期末比で若干上昇（利回りは小幅に低下）しました。作成期初から2022年4月初旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）したものの、7月下旬にかけて下落（利回りは上昇）基調となりました。高インフレ、中央銀行による物価重視の姿勢、世界的な成長鈍化懸念などが下落要因となりました。その後、インフレ高進への懸念が和らいだことなどから8月中旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）したものの、作成期末にかけて方向感に欠ける動きとなりました。

【為替相場】

当作成期のブラジルレアルは円に対して前作成期末比で上昇しました。作成期初から2022年4月中旬にかけてブラジルレアルは対円で上昇傾向となりました。中央銀行による利上げ、日米金利差の急拡大などに伴う急速な米ドル高・円安進行の流れを受けたことなどが上昇要因となりました。その後、インフレ率の上昇からブラジルレアルは対円で5月中旬にかけて下落傾向となったものの、コモディティ価格の上昇が追い風となり6月上旬にかけて上昇傾向に転じました。根強い高インフレから7月下旬にかけてブラジルレアルは円に対して再び下落傾向となったのち、途中上下動を見せながらも上昇傾向に転じて作成期末を迎えました。インフレ率に落ち着きの兆しが出てきたことを受けて中央銀行が政策金利を据え置いたことなどが上昇要因となりました。

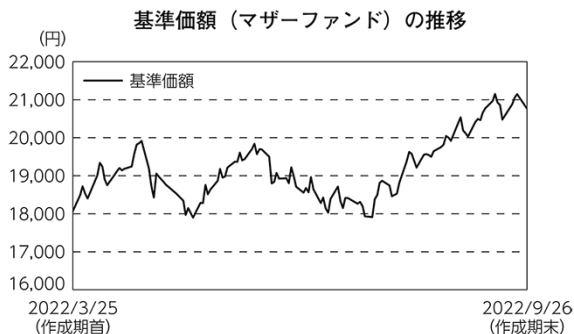
ポートフォリオについて

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

<ブラジル債券マザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を25～32%程度、固定利付債は66～74%程度としました。また、キャッシュ比率は0.3～1.3%程度に維持しました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

第163期から第168期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも15円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
	2022年3月26日～ 2022年4月25日	2022年4月26日～ 2022年5月25日	2022年5月26日～ 2022年6月27日	2022年6月28日～ 2022年7月25日	2022年7月26日～ 2022年8月25日	2022年8月26日～ 2022年9月26日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
（対基準価額比率）	0.396%	0.403%	0.414%	0.432%	0.389%	0.376%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	257	268	280	287	307	328

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

ブラジルでは、ガソリン価格に課している商品流通サービス税（ICMS）の税率引き下げがサンパウロ州で実施されています。こうした措置はインフレ沈静化につながると思われ、債券市場にとりプラス材料になると考えられます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。相対的に高い債券利回り、割安な水準にあるブラジルリアルは魅力的であると考えます。

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<ブラジル債券マザーファンド>

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルリアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルリアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルリアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルリアル建ての債券を購入いたします。その際の為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 3 月26日～2022年 9 月26日)

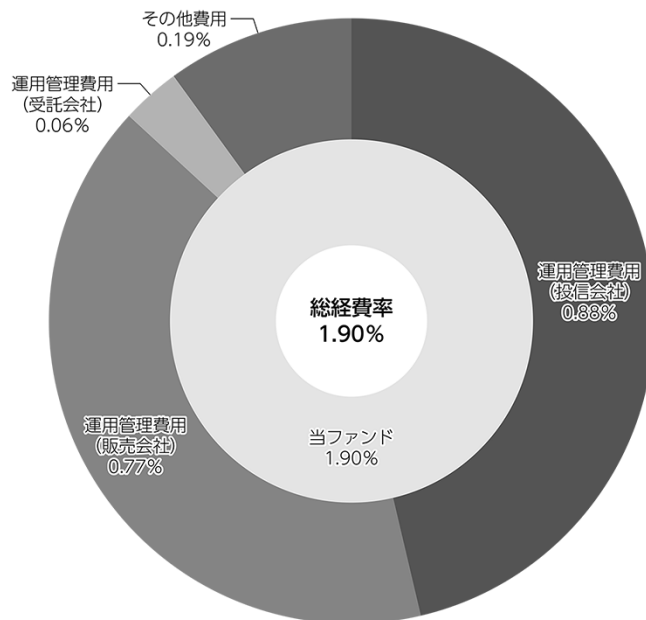
項 目	第163期～第168期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 32	% 0.864	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.446)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(15)	(0.390)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.095	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.081)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.011)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	36	0.959	
作成期中の平均基準価額は、3,727円です。			

- (注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年 3 月26日～2022年 9 月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第163期～第168期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル債券マザーファンド	100, 091	189, 993	1, 563, 620	3, 027, 257

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年 3 月26日～2022年 9 月26日)

利害関係人との取引状況

< H S B C ブラジル債券オープン（毎月決算型） >
該当事項はございません。

<ブラジル債券マザーファンド>

区 分	第163期～第168期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2, 946	百万円 —	% —	百万円 5, 867	百万円 188	% 3. 2

平均保有割合 99. 0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。
(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2022年 9 月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第162期末	第168期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ブラジル債券マザーファンド	7, 431, 052	5, 967, 523	12, 389, 771

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年9月26日現在)

項 目	第168期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル債券マザーファンド	12,389,771	99.4
コール・ローン等、その他	73,036	0.6
投資信託財産総額	12,462,807	100.0

- (注) 評価額の単位未満は切捨て。
(注) ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(12,469,074千円)の投資信託財産総額(12,596,061千円)に対する比率は99.0%です。
(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=144.02円、1ブラジルレアル=27.3551円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末	第168期末
	2022年4月25日現在	2022年5月25日現在	2022年6月27日現在	2022年7月25日現在	2022年8月25日現在	2022年9月26日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	13,775,639,360	13,108,524,934	12,327,880,807	11,709,098,039	12,748,319,749	12,462,807,757
ブラジル債券マザーファンド(評価額)	13,687,761,207	13,046,937,605	12,298,306,452	11,695,200,959	12,710,488,385	12,389,771,586
未収入金	87,878,153	61,587,329	29,574,355	13,897,080	37,831,364	73,036,171
(B) 負債	162,921,612	133,931,537	102,939,612	83,304,647	109,044,907	140,284,591
未払収益分配金	54,178,755	52,559,105	50,863,783	50,402,579	49,320,764	46,558,492
未払解約金	87,878,153	61,587,329	29,574,355	13,897,080	37,831,364	73,036,171
未払信託報酬	19,985,582	18,109,389	19,948,279	15,758,609	17,860,745	18,834,173
その他未払費用	879,122	1,675,714	2,553,195	3,246,379	4,032,034	1,855,755
(C) 純資産総額(A－B)	13,612,717,748	12,974,593,397	12,224,941,195	11,625,793,392	12,639,274,842	12,322,523,166
元本	36,119,170,030	35,039,403,438	33,909,188,966	33,601,719,726	32,880,509,945	31,038,995,183
次期繰越損益金	△22,506,452,282	△22,064,810,041	△21,684,247,771	△21,975,926,334	△20,241,235,103	△18,716,472,017
(D) 受益権総口数	36,119,170,030口	35,039,403,438口	33,909,188,966口	33,601,719,726口	32,880,509,945口	31,038,995,183口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,769円	3,703円	3,605円	3,460円	3,844円	3,970円

- (注) 当ファンドの第163期首元本額は37,417,930,387円、第163～168期中追加設定元本額は514,071,515円、第163～168期中一部解約元本額は6,893,006,719円です。
(注) また、1口当たり純資産額は、第163期0.3769円、第164期0.3703円、第165期0.3605円、第166期0.3460円、第167期0.3844円、第168期0.3970円です。
(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況

項 目	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
	2022年 3 月26 日～ 2022年 4 月25 日	2022年 4 月26 日～ 2022年 5 月25 日	2022年 5 月26 日～ 2022年 6 月27 日	2022年 6 月28 日～ 2022年 7 月25 日	2022年 7 月26 日～ 2022年 8 月25 日	2022年 8 月26 日～ 2022年 9 月26 日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	794,990,085	△ 160,424,968	△ 260,564,975	△ 421,740,610	1,330,064,675	452,670,498
売買益	821,243,243	11,033,344	11,412,958	2,175,107	1,351,848,548	472,188,918
売買損	△ 26,253,158	△ 171,458,312	△ 271,977,933	△ 423,915,717	△ 21,783,873	△ 19,518,420
(B) 信託報酬等	△ 20,864,704	△ 18,905,981	△ 20,825,760	△ 16,451,793	△ 18,646,400	△ 16,657,894
(C) 当期損益金 (A + B)	774,125,381	△ 179,330,949	△ 281,390,735	△ 438,192,403	1,311,418,275	436,012,604
(D) 前期繰越損益金	△ 6,594,379,030	△ 5,682,250,106	△ 5,708,950,997	△ 5,975,727,131	△ 6,311,577,042	△ 4,752,518,563
(E) 追加信託差損益金	△ 16,632,019,878	△ 16,150,669,881	△ 15,643,042,256	△ 15,511,604,221	△ 15,191,755,572	△ 14,353,407,566
(配当等相当額)	(443,009,886)	(431,227,638)	(418,563,539)	(415,809,273)	(408,089,312)	(386,840,742)
(売買損益相当額)	(△ 17,075,029,764)	(△ 16,581,897,519)	(△ 16,061,605,795)	(△ 15,927,413,494)	(△ 15,599,844,884)	(△ 14,740,248,308)
(F) 計 (C + D + E)	△ 22,452,273,527	△ 22,012,250,936	△ 21,633,383,988	△ 21,925,523,755	△ 20,191,914,339	△ 18,669,913,525
(G) 収益分配金	△ 54,178,755	△ 52,559,105	△ 50,863,783	△ 50,402,579	△ 49,320,764	△ 46,558,492
次期繰越損益金 (F + G)	△ 22,506,452,282	△ 22,064,810,041	△ 21,684,247,771	△ 21,975,926,334	△ 20,241,235,103	△ 18,716,472,017
追加信託差損益金	△ 16,632,019,878	△ 16,150,669,881	△ 15,643,042,256	△ 15,511,604,221	△ 15,191,755,572	△ 14,353,407,566
(配当等相当額)	(443,208,185)	(431,307,562)	(418,690,993)	(415,853,336)	(408,180,079)	(386,981,530)
(売買損益相当額)	(△ 17,075,228,063)	(△ 16,581,977,443)	(△ 16,061,733,249)	(△ 15,927,457,557)	(△ 15,599,935,651)	(△ 14,740,389,096)
分配準備積立金	485,274,152	508,578,751	533,915,489	549,207,150	603,284,296	631,795,233
繰越損益金	△ 6,359,706,556	△ 6,422,718,911	△ 6,575,121,004	△ 7,013,529,263	△ 5,652,763,827	△ 4,994,859,684

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第163期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (115,868,473円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (443,208,185円) および分配準備積立金 (423,584,434円) より分配対象収益は982,661,092円 (10,000口当たり272円) であり、うち54,178,755円 (10,000口当たり15円) を分配金額としております。

(注) 第164期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (90,425,359円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (431,307,562円) および分配準備積立金 (470,712,497円) より分配対象収益は992,445,418円 (10,000口当たり283円) であり、うち52,559,105円 (10,000口当たり15円) を分配金額としております。

(注) 第165期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (92,922,341円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (418,690,993円) および分配準備積立金 (491,856,931円) より分配対象収益は1,003,470,265円 (10,000口当たり295円) であり、うち50,863,783円 (10,000口当たり15円) を分配金額としております。

(注) 第166期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (71,093,681円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (415,853,336円) および分配準備積立金 (528,516,048円) より分配対象収益は1,015,463,065円 (10,000口当たり302円) であり、うち50,402,579円 (10,000口当たり15円) を分配金額としております。

(注) 第167期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (116,023,017円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (408,180,079円) および分配準備積立金 (536,582,043円) より分配対象収益は1,060,785,139円 (10,000口当たり322円) であり、うち49,320,764円 (10,000口当たり15円) を分配金額としております。

(注) 第168期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (108,937,819円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (386,981,530円) および分配準備積立金 (569,415,906円) より分配対象収益は1,065,335,255円 (10,000口当たり343円) であり、うち46,558,492円 (10,000口当たり15円) を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、16,201,883円です。

○分配金のお知らせ

	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期	第168期
1 万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
- 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分（特別分配金）は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

2022年 6 月23日付
信託期間を 5 年間延長し、信託終了日を2028年 9 月25日とする約款変更を行いました。

<ブラジル債券マザーファンド>

下記は、ブラジル債券マザーファンド全体(6,031,064千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第168期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	482,500	446,168	12,204,984	97.5	97.5	21.2	35.2	41.0
合 計	482,500	446,168	12,204,984	97.5	97.5	21.2	35.2	41.0

(注) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 単位未満は切捨て。
(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しております。
(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			第168期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル			%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
国債証券	LTN 01/01/2024	—	78,470	67,408	1,843,953	2024/ 1 / 1	
	LTN 07/01/2023	—	75,300	68,376	1,870,452	2023/ 7 / 1	
	LTN 07/01/2024	—	20,000	16,370	447,804	2024/ 7 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2023	10.0	36,080	35,722	977,197	2023/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2025	10.0	134,300	129,731	3,548,810	2025/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2027	10.0	33,200	31,461	860,624	2027/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	83,100	77,046	2,107,608	2029/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2031	10.0	16,900	15,385	420,878	2031/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2033	10.0	5,150	4,666	127,653	2033/ 1 / 1	
合 計					12,204,984		

(注) 邦貨換算金額は、作成期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。
(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しております。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況
第14期（2021年9月22日～2022年9月20日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10％以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
10期(2018年9月18日)	15,044	△20.2	96.4	—	27,009
11期(2019年9月18日)	17,951	19.3	97.4	—	24,320
12期(2020年9月18日)	14,759	△17.8	97.6	—	16,404
13期(2021年9月21日)	14,500	△ 1.8	97.5	—	12,685
14期(2022年9月20日)	20,885	44.0	97.4	—	12,670

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

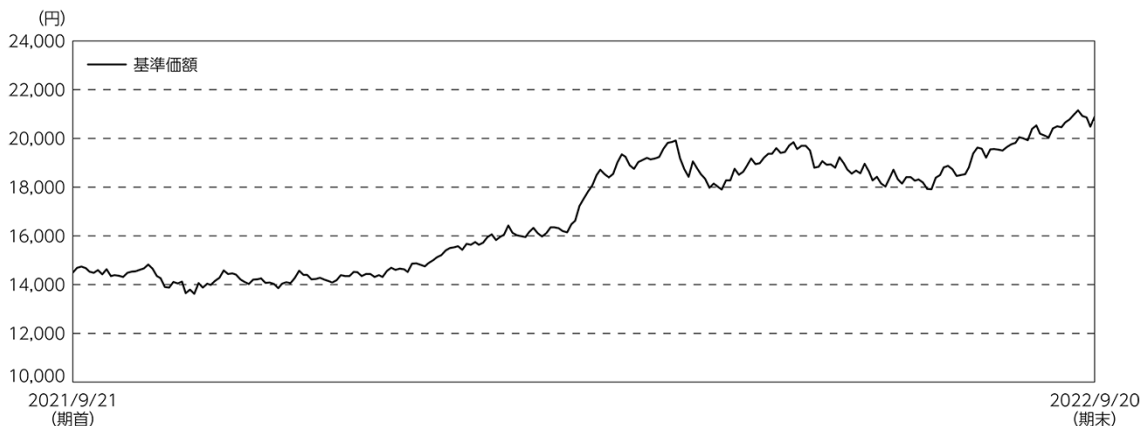
年	月	日	基 準	価 額	債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰 落 率						
(期 首)			円	%			%			%
2021年	9月	21日	14,500	—			97.5			—
	9月	末	14,591	0.6			98.0			—
	10月	末	13,651	△ 5.9			97.1			—
	11月	末	14,092	△ 2.8			96.5			—
	12月	末	14,348	△ 1.0			96.0			—
2022年	1月	末	15,214	4.9			99.0			—
	2月	末	16,020	10.5			98.3			—
	3月	末	18,402	26.9			98.0			—
	4月	末	19,054	31.4			97.3			—
	5月	末	19,367	33.6			96.7			—
	6月	末	18,963	30.8			96.1			—
	7月	末	18,868	30.1			98.8			—
	8月	末	20,188	39.2			97.6			—
(期 末)										
2022年	9月	20日	20,885	44.0			97.4			—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第14期：2021年9月22日～2022年9月20日）



基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で大幅に上昇したことが、プラスに働きました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）が基準価額にマイナスに寄与しました。

投資環境について

【債券市況】

当期のブラジル債券市場は前期末比で下落（利回りは上昇）しました。債券市場は、期初から2021年10月中旬までは方向感に欠ける動きとなったのち、インフレ率の上昇が加速したことなどから11月初旬にかけて急速に下落（利回りは急上昇）しました。その後、中央銀行が利上げを通じてインフレ抑制に向けて強い姿勢を示したことが市場で好感され、11月下旬から12月下旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）傾向となりました。債券市場は、2022年2月下旬まで一定範囲内で推移したのち、高水準にあるインフレ率などから3月中旬にかけて下落（利回りは上昇）傾向となりました。その後、4月初旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）したものの、7月下旬にかけて下落（利回りは上昇）基調となりました。高インフレ、中央銀行による物価重視の姿勢、世界的な成長鈍化懸念などが下落要因となりました。債券市場は、インフレ高進への懸念が和らいだことなどから8月中旬にかけて上昇（利回りは低下）したものの、期末にかけて方向感に欠ける動きとなりました。

【為替相場】

当期のブラジルレアルは円に対して前期末比で大幅に上昇しました。ブラジルレアルは対円で、期初から2022年1月下旬まで方向感に欠ける動きとなったのち、4月中旬にかけて上昇傾向となりました。中央銀行による積極的な利上げ、日米金利差の急拡大などに伴う急速な米ドル高・円安進行の流れを受けたことなどが上昇要因となりました。その後、ブラジルレアルは対円で、7月下旬にかけて一定範囲内で推移したのち、インフレ高進への懸念が和らいだことなどから期末にかけて上昇傾向に転じました。

ポートフォリオについて

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を21～32%程度、固定利付債は66～78%程度としました。また、キャッシュ比率は0.1～1.3%程度に維持しました。

今後の運用方針

ブラジルでは、ガソリン価格に課している商品流通サービス税（ICMS）の税率引き下げがサンパウロ州で実施されています。こうした措置はインフレ沈静化につながると思われ、債券市場にとりプラス材料になると考えられます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。相対的に高い債券利回り、割安な水準にあるブラジルレアルは魅力的であると考えます。

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高めに維持しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021 年 9 月 22 日～2022 年 9 月 20 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 27	% 0.160	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(27)	(0.160)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	27	0.160	
期中の平均基準価額は、16,896円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021 年 9 月 22 日～2022 年 9 月 20 日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 123,853	千ブラジルリアル 274,073

(注) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021 年 9 月 22 日～2022 年 9 月 20 日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
		$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 5,380	百万円 —	% —	百万円 10,064	百万円 390	% 3.9

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	484,500	445,536	12,344,624	97.4	97.4	21.1	35.0	41.3
合 計	484,500	445,536	12,344,624	97.4	97.4	21.1	35.0	41.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル			%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
国債証券	LTN 01/01/2024	—	78,470	66,979	1,855,812	2024/ 1 / 1	
	LTN 07/01/2023	—	75,300	68,119	1,887,403	2023/ 7 / 1	
	LTN 07/01/2024	—	20,000	16,228	449,651	2024/ 7 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2023	10.0	38,080	37,657	1,043,384	2023/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2025	10.0	134,300	128,892	3,571,274	2025/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2027	10.0	33,200	31,274	866,538	2027/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	83,100	76,498	2,119,565	2029/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2031	10.0	16,900	15,260	422,827	2031/ 1 / 1	
	NTN-F 10% 01/01/2033	10.0	5,150	4,625	128,165	2033/ 1 / 1	
合 計					12,344,624		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しております。

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,344,624	96.5
コール・ローン等、その他	445,499	3.5
投資信託財産総額	12,790,123	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産（12,681,501千円）の投資信託財産総額（12,790,123千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=143.28円、1ブラジルレアル=27.7073円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,871,480,048
コール・ローン等	191,114,851
公社債(評価額)	12,344,624,475
未収入金	136,226,733
未収利息	183,600,130
前払費用	15,913,859
(B) 負債	200,855,144
未払金	81,367,136
未払解約金	119,487,711
未払利息	297
(C) 純資産総額(A－B)	12,670,624,904
元本	6,066,942,522
次期繰越損益金	6,603,682,382
(D) 受益権総口数	6,066,942,522口
1万口当たり基準価額(C／D)	20,885円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	8,748,843,965円
期中追加設定元本額	295,475,556円
期中一部解約元本額	2,977,376,999円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
H S B C ブラジル債券オープン(毎月決算型)	6,001,932,126円
H S B C ブラジル債券オープン(1年決算型)	65,010,396円

○損益の状況 (2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,426,610,558
受取利息	1,426,641,930
支払利息	△ 31,372
(B) 有価証券売買損益	3,196,525,565
売買益	3,813,604,363
売買損	△ 617,078,798
(C) 保管費用等	△ 20,230,410
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	4,602,905,713
(E) 前期繰越損益金	3,936,820,020
(F) 追加信託差損益金	188,198,655
(G) 解約差損益金	△2,124,242,006
(H) 計(D＋E＋F＋G)	6,603,682,382
次期繰越損益金(H)	6,603,682,382

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

商号変更について

H S B C 投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「H S B C アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。